

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	心理学と心理的支援	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	前期 水曜1限	教室名	心理実習室
担当教員	武藏 秀太				
《授業科目における学習内容》					
①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解する。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
PC、プロジェクター、配布資料、映像資料					
《授業外における学習方法》					
参考図書を読むなど自分でも勉強する					
《履修に当たっての留意点》					
心理学の基礎について丁寧に楽しくふれていきます。わからないことがあれば遠慮せずに質問等してください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理学の歴史と対象について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理学の起源や科学としての心理学の発展、心理学の対象について学ぶ。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の生物学的基盤について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心の生物学的基盤としての脳構造、神経機能、遺伝等を学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚・知覚について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	感覚モダリティ、知覚の情報処理過程について学ぶ。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	記憶の多重貯蔵モデル、チャンク化、処理水準モデルについて学ぶ。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習・行動について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	古典的条件付け、道具的条件付け等の学習理論を学ぶ。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感情・動機づけ・欲求について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	感情の仕組み、機能、動機付け理論について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	人格・言語・知能について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	人格や言語の発達や形成要因、知能の定義について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	人と環境について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	社会・集団・家族といった対人場面における相互作用について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の発達について説明できる①	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	認知発達理論、アタッチメント理論、道徳性の発達等について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の発達について説明できる②	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	生涯発達の観点から、各ライフステージにおける課題と危機について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の不応と健康生成論について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	ストレス理論、精神障害とその治療、レジリエンスや頑健性といった健康な心理特性や健康生成論について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的支援として、アセスメントの基本的技法について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理アセスメントの方法や事例の定式化、マイクロカウンセリングについて学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理療法における介入技法の概要について説明できる①	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	精神分析、認知行動療法、支持的精神療法、応用行動分析、家族療法等の心理療法を学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理療法における介入技法の概要について説明できる②	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	精神分析、認知行動療法、支持的精神療法、応用行動分析、家族療法等の心理療法を学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識のアウトプットができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	まとめと最終確認		